

市・県民税、固定資産税、軽自動車税

税情報システム 運用開始



市は平成元年を「OA元年」と位置付け、電子計算機利用3カ年計画を定めて推進してきました。これまでの進み具合と、これにかかわる個人情報の処理状況をお知らせします。

税務関係 電算処理スタート

三カ年計画初年度の平成元年度は、二年三月十二日に住民基本台帳、印鑑登録の電算処理を開始しました。二年度は引き続き、これまで外部委託していた税務課の事務(市・県民税、固定資産税、軽自動車税)について、庁内で電算処理できるよう準備を進め、三年四月から自己処理できるようになりました。

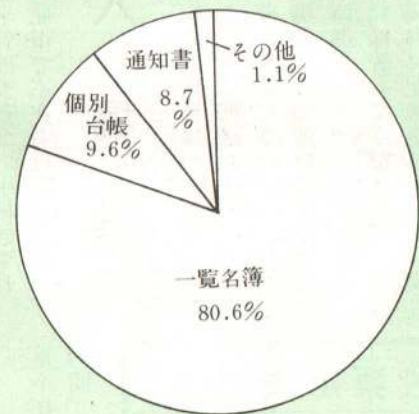
税関係は各家庭、事業所と深く結び付いていますが、三税の賦課計算、納税通知から消し込み、資産・納税証明書の発行まで、一連の事務を庁内で処理します。ので、皆さんからの照会や証明依頼等に迅速におこたえてくれるようになります。どうぞご利用ください。

また、税金納入後の処理を早めるため、新たに光学読み取り装置を導入しました。

これにより納税通知書が新しい用紙・様式に変わります。特殊な用紙です。から、汚したり折ら曲げたりしないようお願いします。

三年度は、国民健康保険税、国民

4. 処理形態別割合



個人情報の 電算処理状況

年金の事務について電算処理することを目標に、ただいま検討、準備を進めているところです。

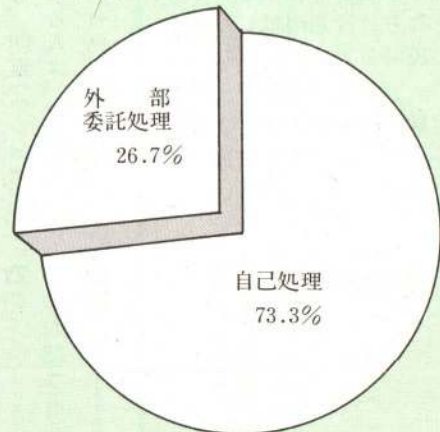
市では、毎日の仕事のなかで市民の皆さんのいろいろな個人情報を取り扱い、仕事の効率化とサービス向上を図るため様々な分野で電子計算機を利用しています。

しかし、個人情報は皆さんのプライバシーにかかわる大切なものです。ですから、どういう仕事でどのように電算処理しているかを知っていただくため、個人情報の電算処理状況を毎年一回公表しています。平成二年中の処理状況は次のとおりです。(詳細は総務課で閲覧できます)

- 1. 個人情報を電算処理した業務数.....32業務
- 2. 電算処理した個人情報の総件数(延べ)..... 9,186,334件
- 3. 電算処理した個人情報の使用目的別件数(延べ)

病院診療費請求関係	5,922,000件
市税賦課徴収関係	1,155,469件
水道料金関係	854,483件
住民・印鑑登録関係	231,716件
人事・給与関係	205,285件
国民健康保険事務関係	193,170件
老人・福祉医療給付関係	177,000件
検診・予防接種関係	125,295件
選挙人名簿関係	109,700件
その他	212,216件

5. 処理方法別割合



※電算処理件数：用紙などに書き表された個人情報数で、1人分が1件。